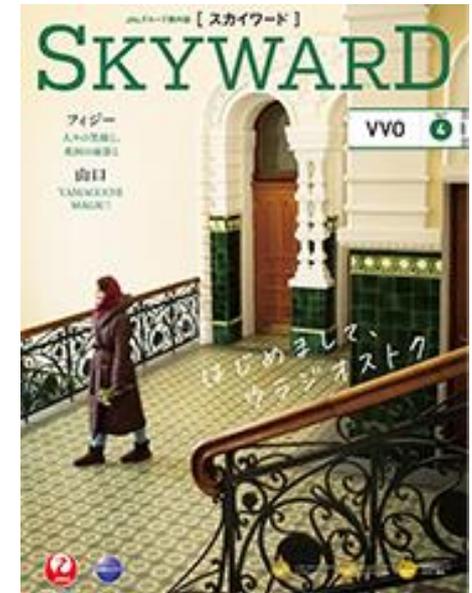


JALグループの機内誌『SKYWARD』4月号に制服リサイクルの取り組みが掲載

当社ではJALグループの整備士などの旧制服を回収し、車の吸音材などにリサイクルしています。その取り組みがJALグループの機内誌で掲載されました。下記は記事の抜粋です。



リサイクルの流れ 吸音材として生まれかわるまで



2 細断

集まった制服を機械で細断。



1 回収

回収した制服を切り、発送。



4 再製品化

自動車用吸音材として、エンジンルーム内や車内に使用。



3 再資源化(反毛化)

何度もときほくしてワタ状に。

リサイクルを重視した
廃棄システム

不要となった整備士などの制服は、制服再資源化に共に取り組んでいる株式会社クマのリサイクル工場に送られます。工場では素材の選別後、機械にかけて細断。小さく刻まれた細断品を何度もときほぐし、ワタ状になった生地は、再資源化され吸音材として自動車のエンジンルーム内や車内などに広く使用されます。JALは今後も、持続可能な社会の創造に挑戦してまいります。